



日本住を快適空間!

DAN ネット通信

2007.10-11 vol.58

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

住宅寿命は200年の時代へ

従来の住宅より8倍長持ち

先頃まとまった国土交通省の平成20年度予算概算要求の中で、大きな話題となったのが住宅の長寿命化、いわゆる200年住宅の推進です。これまで日本の住宅の寿命は25年程度と言われていましたが、それを一気に8倍まで引き上げるといふもの。

国では住宅の建設、維持管理、流通、資金調達等の各段階で総合的な施策を講じることで、200年にわたって住み続けられる超長期住宅を目指す考えで、具体的には①超長期住宅先導的モデル事業の創設②住宅の適切な維持管理・円滑な流通の確保等③住宅の長寿命化・循環的利用を支える住宅金融の拡充という3つを政策の柱としています。

モデル事業への助成などを構想

超長期住宅先導的モデル事業の創設は、耐久性・耐震性が高く、維持管理も簡単など、超長期住宅としての基本性能を持った住宅の普及・啓発を担う先導的なモデル事業に助成を行なうというもの。ICタグによる履歴情報の記録・管理システムの導入や、スケルトン（躯体）とインフィル

（内装・設備）の分離などが想定されています。

住宅の適切な維持管理・円滑な流通の確保等は、新築時やリフォーム時および点検時の設計図書・施工内容などを保存・活用できる仕組みの整備、既存住宅の性能評価・表示手法の開発、超長期住宅普及へ向けた環境整備を担うNPO法人等に対する助成制度の創設などを構想。

住宅の長寿命化・循環的利用を支える住宅金融

の拡充は、住宅金融支援機構の証券化支援業務のうち、民間金融機関との提携ローン・フラット35の償還期間を35年から50年に延長するとともに、中古住宅購入時の融資にリフォーム費用も上乗せすることなどが考えられています。

基本法制定して普及を進める意向

国土省ではこれらの政策の基本となる法律（仮称・住宅の循環利用の促進に関する法律）を制定し、「超長期住宅認定基準」による計画認定や定期点検などの枠組を作ったうえで普及を進めていく意向。このまま予算案が承認されれば、欧米の住宅先進国に勝るとも劣らない高耐久な住まいが日本に根づいていくきっかけになるのではないのでしょうか。



超長期住宅（200年住宅）の政策の一つとして構想されている先導的モデル事業のイメージ（国土交通省の資料より）

特集

湿式外装のテクスチャーを活かす付加断熱パネルを開発

モルタルや塗装などの湿式外装は、外装材の主流であるサイディングに飽き足りないビルダーを中心に根強い人気がありますが、現場の施工手間やコストアップなどの課題をクリアする必要があるのも事実。そこで(株)ダンネットでは湿式外断熱外装システムである「シュトーサーモ クラシック」の技術・部材を活用し、あらかじめ仕上げ塗装用の補強下地層を施工済みのEPS（ビーズ法ポリスチレンフォーム）付加断熱パネルを開発。このほど北海道内で試験施工を行いました。今回はこの湿式外装用付加断熱パネルについて紹介します。

補強下地層施工済みのEPS断熱材

試験施工で製作・使用した湿式外装用付加断熱パネル（以下、付加断熱パネル）は、工場ですく3×6尺サイズのEPS 50mm厚にトップコート（仕上げ塗装）の下地となるベースコートを施工し、その上からグラスファイバーメッシュを伏せ込んで均したものです。木造住宅の新築・リフォームにおいて湿式外装のテクスチャーと付加断熱を、容易な施工とリーズナブルなコストで実現する製品として開発しました。

例えば、これまで湿式外断熱外装システムとして普及を進めてきたシュトーサーモ クラシックは、RC造の場合、EPS断熱材を躯体に貼った後、ベースコートを一度塗ってからグラスファイバーメッシュを伏せ込み、その上から再びベースコートを均して補強下地層を作ってからトップコートを施工していましたが、付加断熱パネルを使えば、パネル取り付け後にジョイント部分を処理し、後はトップコートで仕上げれば施工終了と、断熱施工から仕上げまでかなり簡略化されることに

なります。

新築であれば軸間充填断熱との組み合わせで次世代省エネルギー基準をクリアする断熱性能を実現でき、シュトーサーモ クラシックと同様にEPSからトップコートまで透湿性が確保されているので通気層施工も不要。その上で意匠性に優れる湿式外装のテクスチャーを提案できるというメリットがあります。

また、リフォームや増改築でも通気層の上下を現場発泡ウレタンで塞ぎ、湿気を通す穴を空けた既存のサイディングの上から施工すれば、廃材を最小限に抑えながら壁体内結露の防止と断熱性能の向上、さらに湿式外装のテクスチャーを同時に実現することができます。

人工数は従来の湿式外断熱の半分

今回試験施工を行った住宅は、約20坪の平屋建て在来木造住宅で、付加断熱パネルの施工面積は約120㎡。パネルは軸組の屋外側に貼った耐力面材の準不燃ボード材の上から横使いで千鳥状に施工。パネルの上からプラスチックワッシャー

を柱・間柱に縦横455mmピッチでビス留めして固定しており、ジョイント部分とプラスチックワッシャー部分は上からグラスファイバーメッシュを載せてからベースコートを上塗りして処理します。後はトップコートで仕上げるだけ。なお、軸間は立方体状のグラスウールを乾式で吹き込むキュービックブローエースを施工しています。

人工数については、大工など職人2人で付加断熱パネルの取り付けに2日、ジョイント部分の処理に1日、トップコートの施工に2日で、合計12人工ほど。現場に入る職人が2人なら6日間あれば仕上げまで完了します。シュトーサーモ クラシックであれば、EPS断熱材の取り付けからトップコートまで24人工はかかるので、実質的に付加断熱パネルを使った時の現場工程は半分に抑えることが可能。

EPS断熱材は厚さを一般的なサッシのツバよりもひと回り薄い50mmとしたことで、サッシ回りの施工も従来の充填断熱と同じ感覚でできるほか、丸鋸によるカットもやりやすいなど、現場での施工性も良好。実際、大工の作業も非常に早かったと言います。

実行価格で1万円程度になる見込み

コスト面では、付加断熱パネルからパネルを固定するプラスチックワッシャー・ビス、ジョイント部分を処理するグラスファイバーメッシュとベースコート、仕上のトップコートまでの部材一式

で設計価格1万円/㎡前後を予定しており、労務費を加えたハウスメーカー・工務店向けの実行価格は1万円/㎡程度にできそうな手応えを感じているとのこと。

ダンネットでは、今回の規格・仕様で来年春から付加断熱パネルの本格販売を行なう考えです。シュトーサーモ クラシックは責任施工でしたが、付加断熱パネルは部材販売のみ行い、施工はハウスメーカー・工務店の自社施工となる予定。そのための施工マニュアルもこの冬に制作します。

付加断熱パネルを開発したダンネット外断熱事業部では「湿式外装のテクスチャー以外にも、新築では付加断熱による断熱性能の向上、リフォーム・増改築では廃材を出さずに温熱環境の改善と躯体の長寿命化を図ることができます。今後も各ハウスメーカー・工務店様の要望を聞き、より良い製品になるよう対応していきたいですね」と語っています。

シュトーが木造防火構造(30分)認定取得

ダンネットでは、今年6月28日に「シュトー エッセンス ネクスト」という名称で、シュトーサーモ クラシックの木造防火構造認定を取得。これにより、従来ではできなかった在来木造住宅へのシュトーサーモ クラシック採用が可能になりました。

認定の内容や仕様など詳しくはお近くの各支店・営業所までお問い合わせ下さい。



ツートーンのトップコートで仕上げた付加断熱パネル試験施工の住宅。湿式外装ならではのテクスチャーは他の外装材にはない大きな魅力



付加断熱パネルは横使いで割り付け、プラスチックワッシャーをビス留めして固定する



パネルのジョイント部分はグラスファイバーメッシュを載せてからベースコートを塗って処理している



EPS断熱材の厚さが50mmなのでサッシとの取り合いも特別な工夫なく納めることができる



愛犬家の家づくりで 気を付けることは？

Q…犬を室内で数頭飼っているユーザーの家を建てることになりました。「人も犬も快適な家を」と言われています。

どんなことに気を付ければいいのでしょうか？

A…人も犬も快適にということであれば、まずはしっかりした温熱環境が前提になってきますので、できるだけ高い断熱・気密性能を確保することが望めます。高断熱・高気密住宅であれば夏も冬も少ないエネルギーで室温を一定に保てるので身体的にも経済的にもメリットは大きいですし、犬のニオイをこもらないようにするために24時間計画換気を行ううえでも高い気密性能は欠かせません。なお、換気については犬の毛によってフィルターが詰まりやすくなることを考えると、なるべくメンテナンスがしやすい位置にファン本体を設置するなどの配慮も必要でしょう。

夏に犬を家に残したまま外出することを想定して、不在の時でも通風できるように開口部も考えたいものです。例えば内開き・内倒しができるドレーキップ窓や、換気ポジションでロックできる



来客時などに愛犬が走り回らないよう、フェンスで囲った専用スペースも作っておくと便利

回転窓などを使えば、不在時にも安心して通風を行うことができますし、夏の夜に外気を室内に取り入れることも可能になります。

このほか、室内の床仕上げについては滑らないものを採用します。特に子犬は足を滑らせて転んだりすると足骨のゆがみなどのケガを招く危険性があるからです。理想的なのは滑らずクッションも効いているパンチカーペットやコルク。タイルや大理石の床を一部に設けると、犬が体を冷やす時に便利です。また、コンセントは感電する恐れがあるので、できるだけ高い位置に設置するといでしょう。

●編●集●後●記●

◆ 200年住宅や断熱改修の推進、省エネ基準の底上げなど国の方針が打ち出される動きが少しずつ出てきました。方向は間違っていないと思うので、一刻も早い取り組みを望みます。(佐野)

◆ 道都・札幌市では2009年度からの家庭ゴミ収集有料化を目指しているとのこと。それで環境負荷が減るのならないのですが、やっぱり心配になるのは不法投棄。自然の中へのゴミの山が…なんてことだけは避けたいものです。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netso.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい!

●フローイング工事各種 ●外断熱工事 ●気密工事
●ウレタン吹付工事 ●断熱建材製造販売 ●住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■Sto事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3969 FAX(011)875-3971
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822 FAX(029)291-1825
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016